

# News Release

平成 30 年 8 月 8 日  
株式会社日本政策投資銀行  
代表取締役社長 渡辺 一

## 第 7 回 B C M 格付クラブを開催 — 予測情報を踏まえた事業継続の判断と対応 —

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺一、以下「DBJ」という。）は、平成 30 年 7 月 20 日に下記の通り「第 7 回 B C M 格付クラブ」を開催しました。開催概要は以下の通りです。

### 記

#### 第 7 回 B C M 格付クラブ概要

開催日時：平成 30 年 7 月 20 日（金） 13 時 30 分～17 時 30 分

場所：大手町フィナンシャルシティカンファレンスセンター

プログラム：

[第一部]

〈開会挨拶〉

株式会社日本政策投資銀行 取締役常務執行役員 成田 耕二

〈情報提供〉

「予測情報と事業継続の判断、ハザードマップとタイムラインの活用

— 大阪北部地震、平成30年7月豪雨、南海トラフ地震を例に —

株式会社日本政策投資銀行 B C M 格付主幹 蛭間 芳樹

〈事例紹介〉

「ニッポン高度紙工業株式会社の B C M 推進活動」

ニッポン高度紙工業株式会社 管理部安全管理課

課長代理 岩村 和典 様

[第二部]

〈講演〉

「国際情勢の最新動向と企業の危機管理

地政学リスク、気候変動等と交渉術・コミュニケーション術」

株式会社KS International Strategies 代表取締役社長

国際交渉人・紛争調停官・地政学リスクアドバイザー 島田 久仁彦 様

〈ワールド・カフェ〉

「「不確実性」のある情報を踏まえた事業継続の判断と対応について」

〈閉会挨拶〉

株式会社日本政策投資銀行 サステナビリティ企画部長 田原 正人

参加実績：40社 56名

# News Release

## 【 講演の様子 】



以上

**【お問い合わせ先】**

サステナビリティ企画部 電話番号 03-3244-1170

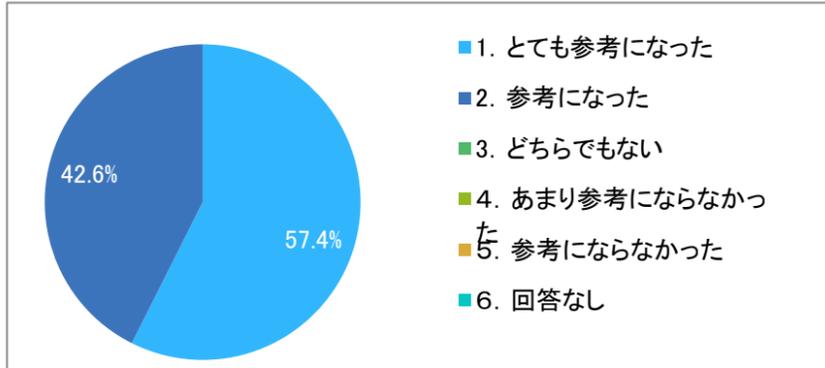
# 「第7回 BCM格付クラブ」出席者 アンケートより

## <第1部>

### <1> [情報提供]

「予測情報と事業継続 -平成30年7月豪雨、南海トラフ地震を例に-」

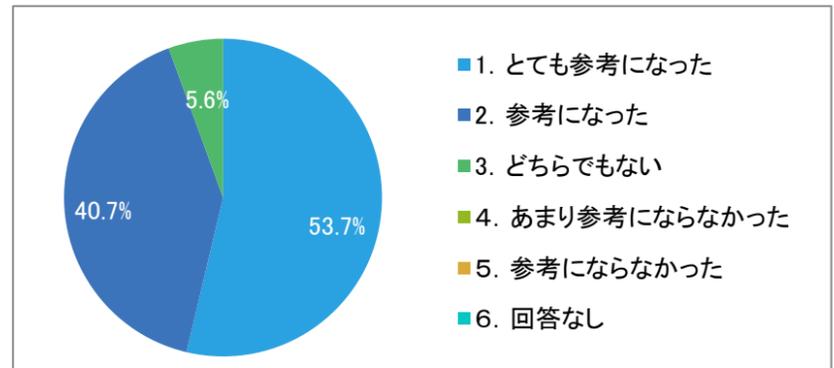
株式会社日本政策投資銀行 BCM格付主幹 蛭間 芳樹



### <2> [講演・ワークショップ]

「ニッポン高度紙工業株式会社のBCM推進活動」

ニッポン高度紙工業株式会社 課長代理 岩村 和典 様

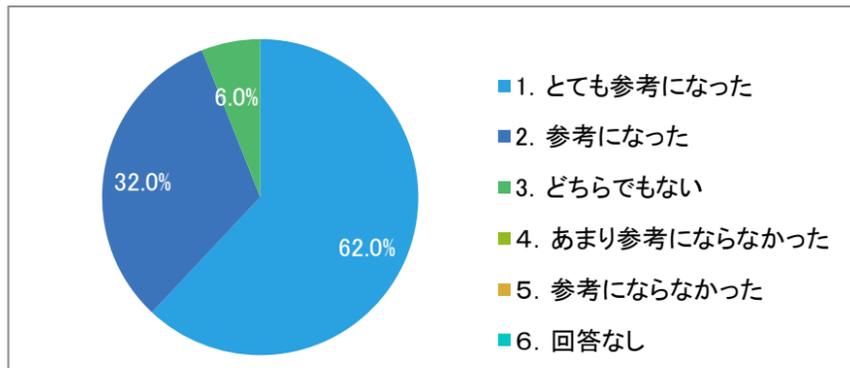


## <第2部>

### <3> [事例紹介]

「国際情勢の最新動向と企業の危機管理\_地政学リスク、気候変動等と交渉術・コミュニケーション術」

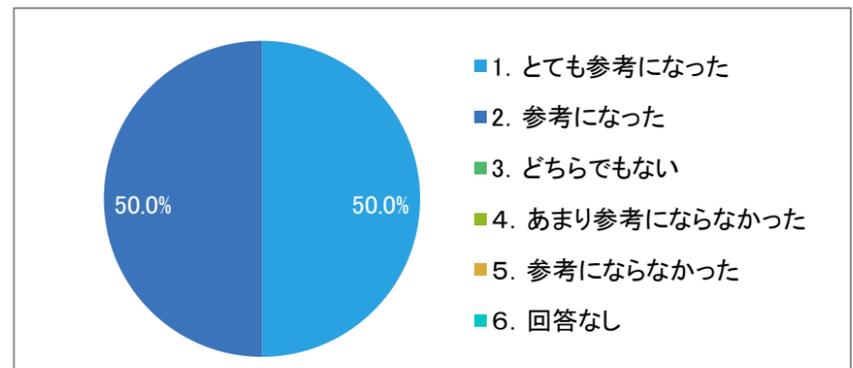
株式会社KS International Strategies 代表取締役社長 島田 久仁彦 様



### <4> [ワールドカフェ]

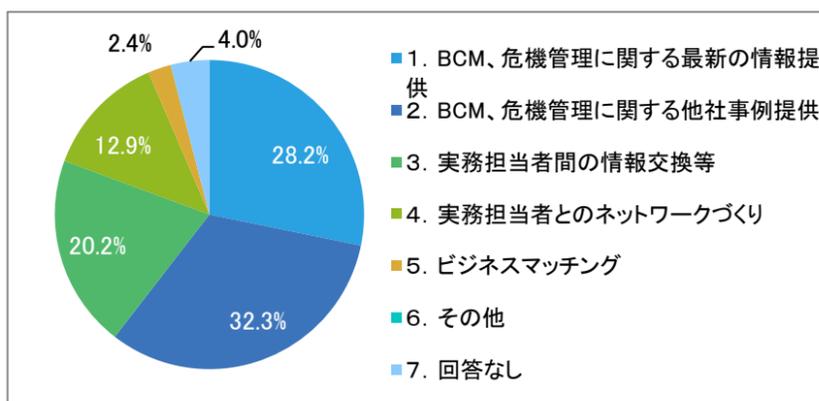
「「不確実性」のある情報を踏まえた事業継続の判断と対応について」

株式会社日本政策投資銀行

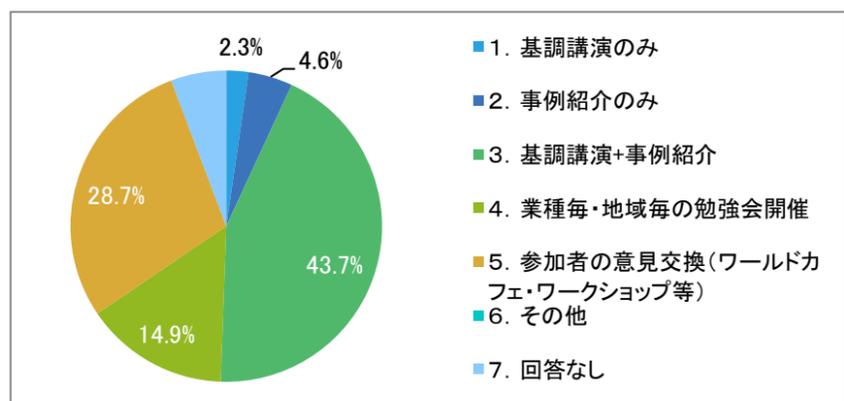


## <BCM格付クラブの運営に関して>

Q: BCM格付クラブに何を期待されますか (複数回答可)



Q: BCM格付クラブのプログラムのご希望について (複数回答可)



## <自由記述抜粋>参加者の声

### 【第1部】

- 直近の倉敷市の事例紹介までフォローしており、有意義な情報だった。
- 実務的な導入事例・対策事例が多く、自社の導入や制度設計・改善に向けた参考になる内容だった。
- BCMを安全衛生活動の中で取り組む点については特に参考になった。
- ハザードマップの精度の高さを認識することができ、当社でも改めて従業員へ周知する必要性を再認識した。
- リスク評価は比較的精度が高い一方、正常性バイアスの存在の問題について改めて認識できた。

### 【第2部】

- 通常考えることと違う角度で考えることの必要性を感じた。
- 無知から行動することを限りなく減らし、想定できるかの大切さ。どうして行うのか、答えられるようで答えが出なかった。目的の大切さを実感しました。
- 業種・エリア・規模により違った意見があり、非常に有意義な時間でした。
- 正しい情報を得ることの重要性を感じると同時に、誤った情報の恐ろしさを再認することができた。